大庭みちよし後援会ニュース

Ohba Michiyoshi kouenkai News

No.164
2016 春号

3月26日、袋井市が浅羽海岸で進めている防潮堤「袋井幸浦の丘」で防災林の植樹が行われた。当日は地元住民や関係者100人以上が参加しクロマツやネズミモチなどの苗木を植えた。5.35ｋｍの海岸をレベル2の巨大津波10mに対応するため12mの防潮堤を約15年間の建設期間で盛土し、盛土が終わったところから植樹をしていく。

植樹終了後安全を願って放たれた風船

平成28年度スタート

木々の緑が眩しい季節になってまいりました。

後援会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。日頃は大庭みちよし後援会に対しまして、格別のご指導、ご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。

ところで、あの東日本大震災から5年余りが経過をいたしました。津波や原発災害を受けられ、今なお17万人余の方々が避難生活をされています。そうした多くの被災された皆様に重ねてお見舞い申し上げます。

袋井市では、この5年間、行政・議会・市民が一体となった防災対策を進めてまいりました。お陰で表紙写真のように津波災害の備えとして高さ12mの防潮堤が121m余りにわたって築かれ、植樹も行われました。また、津波避難タワー１基、命山も来年3月までに4ヶ所整備されるまでになりました。

これら以外にも多くの公共施設をはじめ、さまざまな震災対策が進められていますが、こうしたハード面の対策のみならず地域住民が力を合わせて進めて行くソフト面での震災対策も併せて行っていくことが、これからは一層必要になってくるものと思われます。

さて、平成２８年度がスタートしました。本年度は向こう10ヶ年を見通した新総合計画スタートの年、そして地方創生の2年目と言うことで、市からは「子育て」「定住」「市民力」戦略的投資でスタートダッシュ!のキーワードのもと、様々な事業が提案されました。

とりわけ、「子育て健康長寿への投資」、「住み続けたくなるまちへの投資」、「未来を拓く市民への投資」と言うことで、3つの投資が掲げられました。この中には、現在市の認知度は全国の1000市区町村のうち708位（2015年ブランド総合研究所）との調査結果から、これを300位まで上げることを目標にしたシティプロモーション事業も含まれています。私からは、一般質問を通して、これら当面する事業や課題について、質問をさせていただいたところです。

いずれにせよ、今年は市長も議員も任期の最終年度となります。仕上げに相応しい年となりますように議会活動に取り組んでまいりたいと存じます。

市政には相変わらず多くの課題が山積していますが、これまでの経験を生かして頑張ってまいります。倍旧のご指導、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

袋井市議会議員　大庭通嘉

袋井市2月定例議会報告

平成28年度予算 &「平成27年度補正予算（地方創生加速化事業85,000千円など）」示される

□ 2月定例会開会

平成28年度2月定例会は、さる2月23日に開会し、右表の一般会計をはじめ53議案が市長より、また、議会より３件の議案が提出され、それぞれ審議の結果可決承認され、3月22日に29日間の会期を閉じました。

□上程議案一覧

- 平成28年度袋井市一般会計予算について
- 袋井市日本一健康文化都市条例の制定について
- 袋井市命山条例の一部改正について
- 袋井市市道路線の認定について

ほか市長提出議案49件　議員提出議案3件　全議案可決承認

□ 市政運営の方針

「子育て」「定住」「市民力」戦略的投資でスタートダッシュ！

●子育て・健康長寿への投資
- 『子どもや子育て世代が輝く』まちへ
- 『健康長寿』で暮らしを楽しむまちへ

●住み続けたくなるまちへの投資
- 『魅力的な住環境』で快適に暮らせるまちへ
- 確信と創造で『活力みなぎる産業』のまちへ
- 『みんなが "安全・安心』に暮らせるまちへ

●未来を拓く市民への投資
- 市民一人ひとりが『主役のまち』へ

□ 平成28年度予算の概要（歳入）

平成28年度の一般会計は327.8億円で、前年比1.9%の増、また、特別会計、企業会計を合わせた総額は544.807億円で1.7%増となりました。歳入のうち市民税と法人税の合計で前年対比444万円減の59.24億円、固定資産税が2.1%増、都市計画税0.1%増、市税全体としては昨年より１%増の146.2億円の計上となりました。　また、地方交付税は前年同額の24.0億円、市債は6.0%減額の33.57億円となりました。これにより実質公債費比率は10%程度（目標は15%以下）、地方債の現在高（借金）は昨年より4.4億増加し、258.9億円となります。なお、経常収支比率が90%程度と平成25年より4年程高止まり傾向となっており財政の硬直化が心配です。

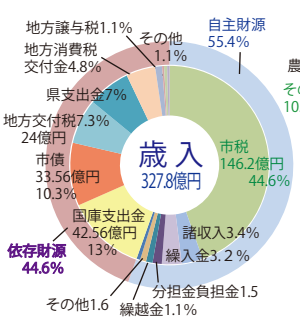
□ 主な事業の概要（歳出）

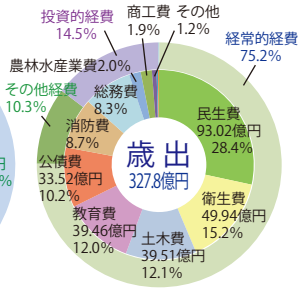
事業の主なものとして、子育て健康長寿への投資として、発達障害支援として育ちの森事業に1.3億円余、総合健康センターリハビリ開設に2.6億円余、教育のICT化に約1億円、子ども達の増加で北小、周中の増設に0. 5億円余、平成32年開館予定の総合体育館整備に0.5億円余が計上されています。

また、住み続けたくなるまちへの投資として、津波対策の防潮堤、幸浦の丘プロジェクトに5.3億円余、同じく命山整備に3.9億円余、同報無線デジタル化に3.5億円余、昨年より募集が開始された市営墓地みつかわ夢の丘に1.6億円余、平成32年完成予定の消防庁舎整備に1.1億円余、区画整理など事業化を進める駅南地区のまちづくりに1億円余、理工科大学南側に８haの工業団地化を平成30年度までに進める豊沢工業団地整備に0.9億円などが計上されています。

さらに、未来へ拓く市民への投資として、シティプロモーション事業として0.8億円余、10月29日、30日にパレードや物産展など予定されている袋井宿駅400年事業に約1億円、平成30年高校総体弓道、平成31年ラグビーWカップ、平成32年東京オリンピック、これらスポーツドリーム事業に587万円などが計上されています。

袋井市平成28年度一般会計予算 単位：%





〈単位：円　対前年増減率〉

一　般　会　計		327億8,000万	1.9
特　別　会　計			
	土地取得	0	皆減
	国民健康保険	95億8,300万	2.1
	後期高齢者医療	6億5,400万	8.8
	介護保険	55億4,300万	1.4
	公共下水道	19億1,500万	2.3
	農業集落排水	1,870万	14.7
	駐車場	6,200万	▲ 7.5
	墓　地	7,900万	▲ 39.2
	小　計	178億5,470万	0.1
企　業　会　計			
	水　道	23億9,400万	0.8
	聖隷袋井市民病院	14億5,200万	25.4
	小　計	38億4,600万	8.9
総　額		544億8,070万	1.7

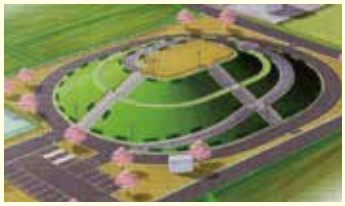
平成28年度主な事業一覧

〈単位：円〉

●子育て・健康長寿への投資	
育ちの森トータルサポート事業	1億3,359万
教育ＩＣＴ推進事業	9,851万
教育施設維持管理（北小・周中増築）	5,203万
総合体育館整備事業	5,547万
総合健康センターリハビリ開設	2億6,824万
●住み続けたくなるまちへの投資	
歩いて楽しいまちづくり	1億　697万
袋井駅南地区まちづくり	1億　200万
みつかわ夢の丘公園整備事業	1億6,454万
豊沢工業団地整備関連事業	9,000万
新観光案内所オープン	1,832万
袋井ブランド農産物パワーアップ事業	1,182万
消防庁舎整備事業	1億1,336万
袋井幸浦の丘プロジェクト	5億3,490万
平成の命山整備事業	3億9,526万
同報無線デジタル化事業	3億5,163万
●未来へ拓く市民への投資	
シティプロモーション事業	8,032万
袋井宿開設400年記念事業	9,739万
袋井スポーツドリーム事業	587万

□総合健康センター リハ病棟オープン

平成25年開院した聖隷袋井市民病院は一般病床50床、平成26年9月に療養病床50床開設し、今年度リハ病床50床が開設し、在宅復帰を目指す施設が完成。



□命山整備事業 東同笠・大野地区（完成予想図）

平成24年12月松原地区に避難タワーを設置。平成25年12月湊東と28年3月中新田に命山が完成。今後29年1月に湊西、29年3月に東同笠・大野地区に命山完成予定。

□消防庁舎整備事業（完成予想図） **建設場所は警察署北側**

仮称袋井防災センターは、常設の市災害対策本部室を備えた合同庁舎で、今年度用地確保、29年度造成工事、30年度建築工事、32年度開署予定。

□豊沢工業団地整備 企業誘致と防潮堤盛土供給

税収確保、雇用促進の観点からも企業誘致は自治体の命題。議会特別委員会の提言も参考に、市が理工科大近接の土地8haを平成30年7月までに整備する予定。

大庭の一般質問

■シティプロモーション事業

シティプロモーションとは

問　平成28年度、市はシティプロモーション事業を推進しようとしているがその目的は。

答　シティプロモーションとは、行政のみならず市民みずからがまちの魅力を再認識し、郷土への誇りや愛着を深めるとともに、この魅力を市民みずからの言葉で国内外に情報発信することにより、市の認知度やイメージの向上を図り、定住人口や交流人口の増加を促していくことを目的とする。

問　事業推進の戦略をどのように考えているか。

答　戦略会議を開催し専門家の意見を聞きながら、ブランドメッセージや基本方針などまとめていきたい。

問　推進組織体制をどのように考えているか。

答　シティプロモーション室を新たに設置し、戦略会議とあわせて進めていく。

問　具体的に何を発信していくのか。

答　これまでも遠州の花火、可睡斎のひな祭り、市のキャラクターフッピーの活用、メロンサミットなどやってきたが、今後いろいろな素材を組み合わせ戦略を組み立てて進めていく。

シティプロモーションの具体例

問　コンサルタント（専門家）から袋井のシティプロモーションに袋井まつり、屋台の活用が提案されているが、これを進めてはどうか。

答　市内に136台ある屋台は市を代表する市の財産。プロモーションに活用できると認識している。秋の宿駅400年祭に屋台展示イベントとして参加してもらえるか意向を全自治会に確認していく。

2001年宿駅400年祭の屋台集合

問　3月19日オープンするＪＲ袋井駅前の新観光案内所はシティプロモーションを具現化に最良の施設。有効活用をどう考えているか。

答　観光情報、イベント情報、本市の魅力を発信する拠点としたい。

問　浅羽海岸5.35ｋｍに津波対策として防潮堤整備が予定されている。浅羽海岸も袋井市の資源であり、展望施設などシティプロモーションとして生かしていくべきではないか。

答　展望施設や簡単なレクリエーション機能など、整備内容について、地元の皆さん方とも相談しながら、海浜公園にかわるものとして整備をしたい。

■放課後児童クラブ

問　現状における問題点をどのように認識しているか。

児童クラブで宿題をする子供たち

答　市内の12小学校区のうち、８小学校区で、昨年度より入所希望児童数が増加し、条例の規定面積、児童１人1.65㎡以上という基準や、1部屋における児童数は40人以下、という基準が満たされていない児童クラブが一部にあり、早期に施設整備を行い、基準を満たすよう整備を進めたい。

児童クラブの前倒し整備を望む

問　放課後児童クラブの整備計画では平成31年までに整備するとのことだが、保護者要望も多くこれを前倒し整備が出来ないか。

答　平成28年度に、浅羽南小、笠原、高南、袋井南、北の５小学校区は新築や増築行い、当初計画では、平成29年度までに、995人としていた定員計画を前倒しし、1,065人まで拡大できる見込み。袋井西小及び東小については、平成31年度までに整備したい。

問　西公民館建設について検討されているが、この中に児童クラブを併設するのか。

答　西公民館新築を考える会や子育て世代などの議論を踏まえて、よりよい施設整備になるよう方針を取りまとめる。

問　自治会連合会長に育成会長をお願いしているが責任範囲と免責の考え方は。

答　放課後児童クラブの運営上の事故等への責任については、事業の実施主体である袋井市が責任を負う。市の役割や責任の範囲が明確となるよう、委託契約の内容について見直す。

問　西小の放課後児童クラブを運動場の一角に建てるというが、他に土地を求めるべきではないか。

答　平成28年度の希望者が定員55名に対し90名と増加したため緊急の措置としてグランド北東隅に仮設の施設を建設することにした。今後、恒久的な施設を、コミュニティセンターへの併設案も含めて、最適な場所に建設出来るよう3年程度内に検討していく。

■歴史文化館

歴史文化館に博物館機能を

問　以前、大庭の質問に対し歴史文化館に博物館機能を持たせると約束していたが、その後どのように進めているか。

答　博物館は、収集、保管、整理、展示のサイクルを持つ施設であり、大型展示品が搬入できるよう、扉を改修し、掛け軸や書画を展示できる大型展示ケースの設置、壁面への遮熱カーテンの設置、美術館仕様のＬＥＤ照明の設置を行うなど進めてきた。また、貴重な古文書や掛け軸の保管を目的に、湿度管理のできる保管庫の導入、資料保存室には整理棚を設置するなど、収集保存機能を向上させている。

問　埋蔵文化財で6,000箱余、民具で2,000点余、古文書が150箱余など、まだ整理されていないものが多いと聞く。また、考古、民族、古文書、絵画など、将来の博物館建設に向け収集したものが既に122点余あると聞く。文化財全体の整理と活用のその後の進捗状況はどうか。

保管されている古文書

答　個人からの寄贈資料等、約4,000点を受け入れ、種類と年代別に分類し台帳を作成し、必要に応じて展示など順次公開している。平成25年度からは、歴史文化館単独ホームページを立ち上げ、ブログを併設しながら施設案内、展示イベント紹介、資料検索など、体系だった情報発信に努めている。また、平成25年度より、種別や制作者などで検索できる収蔵品管理システムを導入し、日常業務の電子化とともに、購入資料や寄贈品について、写真データをホームページで公開している。

問　市史編纂を進める考えはないか。

答　印刷物による新たな市史を作成するのではなく、必要な資料や内容を効果的に活用が出来る電子データ版『目で見る袋井市史』を作成していきたい。

問　学芸員の人事政策をどのように考えるか。

答　本市の学芸員は現在５人いる。年齢構成に偏りがあり、学芸員の技術やノウハウの継承については一朝一夕にはできないことでもあるので、今後、計画的に職員を採用することにより、必要な人材を確保した上で組織体制を検討していく。

原田市長のマニフェストを☑チェック

平成28年度は、市長と市議会議員の任期が最終年度を迎えます。
そこで３年前、原田市長が市民に約束したマニフェストが
この任期の4年目までにどの程度実現しているのか☑評価をしてみました。

公約1	なるべく早く「総合市民体育館」つくります。誰もが気軽に楽しめる体育館、柔剣道場も出来ます。未来のオリンピック選手が育つような体育館にします。	現在平成32年4月供用開始に向けて準備が進められている。通常の方式で建設すれば早く建設できたが、本市ではPFI手法（民間資金を活用して設計・建設・維持管理・運営を民間会社に任せる）を導入したため建設は遅れている。昨今建設費も高騰しており、PFI手法で真に安価な施設になるかは入札結果を見ないと分からない。	残念
公約2	高校野球の公式戦が出来る「野球場」をつくります。子どもからお年寄りまでみんなが野球を親しめるまちにします。未来のプロ野球選手を袋井で育てます。	昨年11月議会の大庭議員への答弁では財政計画との整合や望ましい整備条件を検討するとしている。また、第3次スポーツ推進計画でも球場整備の在り方を検討すると言っているが、全く建設準備に向けての動きは見られない。	未達成
公約3	総合健康福祉センターで市民の健康を守ります。現在の袋井病院を活用します。これが出来るとお年寄りの健康や福祉サービスが格段と良くなります。障がい者福祉も充実します。	平成27年5月に総合健康センターとしてオープンした。保健センターや社会福祉協議会、市の福祉部門も併設された。また、聖隷市民病院では一般・療養・リハ病床が設置され保健・医療・介護の拠点施設としてスタートした。	達成
公約4	中央図書館をつくり施設内に「こども未来館」をつくります。	財政を考え現代にあった図書館を再度考えたい。子ども未来館も将来の財政と整合させて考えると大庭議員の質問に答弁している。現時点で建設の予定は無い。	
公約5	必ず待機児童０を実現します。	平成26年4月現在16人、平成27年4月現在30人の待機児童がいる。県下浜松、静岡、掛川、富士に次いで多い。待機児童０は平成31年度には達成予定。保育園をつくって対応しているがこれを上回る需要がある。	
公約6	平成25年9月から幼稚園給食を開始します。アレルギー対応食も始めます。	平成25年9月より幼稚園給食が始まった。また子ども達のアレルギーに対応出来る給食も平成26年1月より出来るようになった。	
公約7	袋井バイパス高架部分４車線化を平成27年度で完成させ渋滞解消に務めます。	平成27年9月より供用開始となり車の流れが大変良くなった。	
公約8	命山・避難タワー海岸防潮堤など引き続き津波対策に取り組みます。	平成24年12月避難タワーが松原に、平成25年12月湊東に命山が、平成28年3月中新田に完成した。湊西に29年1月に、東同笠・大野地区に29年3月命山が完成予定。また海岸線の防潮堤を12mに盛土する事業も進められる。	
公約9	肺炎球菌ワクチン接種とピロリ菌検査への助成を行います。	肺炎球菌ワクチン接種への助成は行われている。ピロリ菌検査への助成は、平成24年大庭議員の質問を受けて平成25年よりABC検診として実施され、効果も出ている。	
公約10	各家庭で同報無線の放送を聞くことが出来るように個別受信機の全戸設置を目指します。	全戸への受信機配布は1台6万円かかると言うことでできない、という答弁がされている。現在、自治連合会長はじめ難聴地域の皆さんに695台配布されている。	
公約11	小笠山に企業団地を整備し研究所や工場など企業誘致を図ります。	小笠山に企業団地という構想は実施されていない。豊沢地区に企業誘致をしていく事業は緒についた。第一三共跡地利用など、企業誘致の課題は多い。	
公約12	内陸フロンティアを活用し農工商が連携した６次産業を推進していきます。	内陸フロンティアの活用に至っていない。6次産業に向けて様々な事業の取組が試みられているが、目に見える成果には至っていないと思われる。	
公約13	昭和56年度から平成12年度迄の住宅の耐震化補助の拡大をします。	市単独で対象家屋9000棟に対して50万円づつ出しても45億円かかるなど財政的に対応できず、県に要望している、との答弁がされている。財政的にみても難しい。	
公約14	子ども育成基金をつくりスポーツや音楽などで頑張る子ども達を応援します。	現在行っている奨励金交付制度などを育成基金として位置付け充実を図っていきたい、との答弁がされている。	
公約15	危険な通学路を早期に改善していきます。	十分とまでは言えないが、計画的継続的に整備が進められている。	

大庭のホームページ
皆様からのご意見お待ちしています。

毎回寄せられているおハガキ

検索

■http://www2s.biglobe.ne.jp/~mitiyosi/index.html
■Eメール　ohba@mxu.mesh.ne.jp

PRINTED WITH SOY INK 環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを利用しています。

発行所　大庭通嘉後援会
事務所　〒437-0055 袋井市土橋187
TEL090−2138−9220
FAX 0538−42−1925

No.164　2016 春号